

RSウイルスの症状は？

RSウイルスは特に冬に流行するウイルスで、感染すると「RSウイルス感染症」を引き起こします。RSウイルスに感染すると、2～8日の潜伏期間を経て、以下のような症状が現れます。

- 鼻水
- 咳、くしゃみ
- 発熱

多くの場合は上記のような風邪症状が数日続き、軽症のまま治っていきます。しかし初めて感染したときは症状が重くなりやすく、呼吸困難や細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあり、注意が必要です。

RSウイルスは保育園で流行しやすいの？

RSウイルスは、患者の咳やくしゃみに含まれるウイルスを吸い込むことで感染する飛沫感染と、その飛沫がついた手で触ったおもちゃやタオルを共有することによって感染する接触感染によって感染が拡大していきます。小さな子供が集団生活をする保育園では、感染対策をしたとしてもどうしても予防しきれない部分もあり、RSウイルスは保育園で感染が拡大しやすい病気と言えるでしょう。

またRSウイルスの患者のほとんどは0歳児と1歳児ですが、2歳以上の子どもや大人も感染します。2歳以上の子が感染しても鼻水や咳などごく軽い風邪のような症状しか現れず、RSウイルスと気が付かないまま保育園に登園してしまうことも多いです。その結果、知らないうちにRSウイルスが広がってしまうこともあります。

RSウイルスになったら保育園は出席停止になる？何日休むの？

RSウイルスに感染しても、**保育園を何日休まなければならないという明確な基準はありません。出席停止期間も定められていません。**

とはいえ体調が悪い子どもを保育園に通わせるのは現実的ではありません。また保育園によっては、感染拡大防止の観点から出席停止期間を独自で設けていることもあります。RSウイルスに感染したら、体調がよくなるまでの数日間は保育園をお休みすると考えておきましょう。

RSウイルスは保育園に報告しないでもいい？

RSウイルスは、1歳未満、特に生後6ヶ月未満の子供がかかると重症化のリスクがあるウイルスです。保育園には1歳未満の赤ちゃんも一緒に生活をしている場なので、自分の子どもが軽症だったとしても、感染したことは保育園に報告するようにしてください。

潜伏期間4～5日

鼻水、咳などの上気道の症状や発熱で発症



多くの方は

数日間で回復

一部の方は

喘鳴*、呼吸困難などの
下気道の症状が現れる

数日～1週間ほどかかって
回復

中には、肺炎などに
発展することもあります

